

編集後記

◇ 新型コロナウイルスの感染拡大がなかなか止まらず、更に加えてウイルスの変異株の割合が増加し、重症者も増加の一途をたどっている。国内の新型コロナウイルスの新規感染者は、5月末時点では一日あたり5千人以上で高止まりしており、これまでの全国合計は75万人を超え、亡くなった方は1万3千人を数えている。一方、世界的には感染者数は1億7千5百万人を超え、死者も370万人となり、正にパンデミックの様相を呈している。

ただ、ヨーロッパや米国の一部の州ではワクチンの効果等もあって、感染者数が減少しているところもあり、かすかな光も見えているところである。日本においてもワクチン接種の大プロジェクトが医療従事者、高齢者から始まっており、国民全体への早急な接種拡大の加速化が待たれるところである。

◇ こうした新型コロナウイルスの感染拡大は、当振興会の活動にも少なからず影響を及ぼしている。本号No.148でも特集を「いも類講演会の概要（誌上）」とさせて頂いたが、これは、3月に予定していた「いも類講演会」が感染拡大による大規模イベントの開催自粛要請により中止したため、講演会の準備をして頂いた講師の方々にお願いして「いも類振興情報」に寄稿して頂いたものである。

また、「かんしょ品質評価研究会」の事業については、実需者の方々による評価試験は実施できたが、この評価結果の検討会は開催できず、評価試験データを農研機構及び実需者の方々にメールで送って検討頂き、結果を「品質評価試験報告書」として取りまとめ関係者に送付させて頂いた。

当振興会事務局でも、ここ1年近く交代勤務と勤務時間短縮などを実施し感染防止対策を取ってきたため、連絡が取りづらくなりご迷惑をおかけしているが、幸い、「いも類振興情報」は予定通り発行できているのも、寄稿頂いている皆様のご協力の賜と心からお礼を申し上げたい。

◇ 以上のような世界中での新型コロナウイルスの感染拡大の中にあって、サツマイモの輸出は変わらず好調である。財務省貿易統計によれば2020年の輸出額(FOB)は20.6億円と対前年比22%増となった。輸出先国はやはり東南アジアが多く、香港49.5%、タイ23.4%、シンガポール17.7%、台湾4.2%、マレーシア3.2%、その他1.9%のシェアとなっている。

中でも、茨城県のJAなめがたしおさいは、サツマイモ輸出に注力しており、東南アジアを手始めに、カナダや欧州に積極的に挑戦し徐々に成果を上げ始めているのが注目される。

(鈴木 昭二)

いも類振興情報 第148号

2021(令和3)年7月15日発行

定価 1部 500円

年間購読料(季刊) 2,000円

発行 一般財団法人 いも類振興会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-10-41 ヴィップ赤坂303

TEL 03-3588-1040 FAX 03-3588-1225

E-mail: imoshin@fancy.ocn.ne.jp

郵便振替 00130-1-110152

印刷 株式会社丸井工文社